

# 銀イオン溶出コントロール剤（ゼオライト系）の開発

## ■ 銀イオン溶出コントロール剤 LH210N

浄水器中の微生物汚染対策として、銀活性炭や銀ゼオライト等の銀系抗菌剤が活性炭層に混合使用されていますが、浄水器の使用頻度や水質によっては、銀イオンの過剰溶出が問題となっています。今回開発した銀イオン溶出コントロール剤（ゼオライト系）は、銀系抗菌剤から溶出した過剰な銀イオンを捕捉し、WHOの水質基準である100ppb以下にコントロールすることが可能な剤です。

## ■ 特長

- 選択性  
ミネラル（Na, K, Ca, Mg）を高濃度に含んだ水中から、銀イオンを選択的に除去します。
- 粒子径  
カーボンブロックフィルターに適した粒子径。  
10 $\mu$ m以下の微粒子を含みません。
- 認証  
LH210NはNSF/ANSI42の飲料水処理ユニット用ろ過剤としての認証を得ています。
- 鉛イオン除去性能  
LH210Nは銀イオンだけでなく、水中に含まれる鉛イオンも除去します。  
※ LH210Nは鉛除去剤として、カーボンブロックフィルターに採用されています。

## ■ 製品

Product Name	Particle Size		Removal Capacity	
	D50[ $\mu$ m]	<10 $\mu$ m [%]	Ag[mg/g]	Pb[mg/g]
LH210N-30Z	25~35	<5	≒300	≒500
LH210N-40Z	35~45	<5	≒300	≒500

## ■ 銀溶出試験

[方法]

抗菌剤、量 : 銀系抗菌剤 3.0g  
コントロール剤 : LH210N 10.0g  
試験水 : 300ml  
接触時間 : 24h

